

野洲川放水路通水40年を迎えるにあたって

資料5

- 野洲川は古来より「近江太郎」と呼ばれ、洪水のたびに沿川の人々を苦しめてきました。
- このような状況から、昭和33年より、国による事業着手が行われ、野洲川放水路は流域住民の方々のご協力もあり、昭和40年の事業着手を経て、昭和54年6月、放水路を通水することができました。
- 平成31年は「野洲川放水路通水40年」の年であり、「野洲川の歴史を未来へ伝える」「野洲川の未来についてみんなで考える」ことの重要性をこの機会に再認識し、本懇談会等の様々なイベントを通じて流域の地域活性化に取り組んでいく予定です。

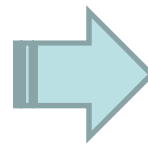


平成 平成31
30年 年6月

昭和 昭和
33年 40年
昭和
54年

調査着手 事業着手 放水路通水

- ◆野洲川の歴史を語り、過去の水害を再認識
- ◆流域住民の協力によって放水路が完成



- ◆施設では防ぎきれない洪水は必ず発生
- ◆流域の方々と地域活性化に取り組む
- ◆過去の洪水や歴史等を未来へ語り継ぐ
- ◆次年度より懇談会を通じて流域全体の地域活性化・健康増進に寄与するイベントを予定



昭和28年台風13号による
南流左岸堤決壊による浸水状況



通水目の野洲川放水路
(昭和53年)



通水式典(昭和54年)



水害や歴史に関する啓発・広報



野洲川冒険大会



野洲川改修記念碑

(守山市新庄町川辺)



(守山市新庄町)



改修工事により移転した
川田の一本松の代木



ビワイチ「よりみちコース」による地域活性化・健康増進

